

【クラブ活動報告】

創立50周年記念式典・祝賀会

堺東ロータリークラブ

堺東ロータリークラブ(会長 奥野 眞一)は、4月24日(日)ホテル・アゴラ・リージェンシー大阪堺で創立50周年式典を開きました。

オープニングイベントの花柳流、花柳 翠寧々 師範 による日本舞踊で幕が開きました。 式典では、記念事業の報告、記念事業を行った堺



商工会議所 時計塔設置のほか、堺市28か所のこども食堂への支援金の目録を贈呈しました。また、永年在籍50年、入会以来皆出席会員の表彰、歴代会長へ記念品を贈呈しました。この



ほか、クラブ奉仕賞、ロータリー財団、米山功労者を表彰しました。また、記念講演は、南港病院 院長補佐 医学博士の城戸 哲夫氏を講師に招き、「新型コロナウイルス感染症との長い闘い」-民間病院 外来医からのメッセージ- と題し、講演を行いました。



「米山奨学生との絆」ネパールの子どもに衣類を寄贈

粉河ロータリークラブ

粉河ロータリークラブは創立55周年記念事業の一環として、ガールスカウト和歌山県第10団と協賛し、ネパールの子どもたちに衣類を寄贈しました。この事業は、2017学年度に受け入れた米山記念奨学生バラタウラ・ジャムナさん(ネパール)の「母国の子供たちを支援したい」という願いから始まりました。彼女とは修了後も交流が続いており、現在は結婚して宮城県仙台市に住んでいます。この母国への熱い思いを聞き、我々も支援しようと検討を重ね記念事業として進めました。



寄贈する衣類の収集や箱詰め作業等をガールスカウト和歌山県第10団が行い、粉河ロータリークラブは輸送を担当しました。ネパールでの配布作業は、ジャムナさんのご家族が3月23~24日にイベントを企画して、「孤児の施設」及び彼女の実家周辺の子ども達に配布して頂きました。

両日とも、ご家族総出での作業となりましたが、衣類を受け取った子供たちの笑顔が嬉しかったと聞いています。

またジャムナさんは、200人分(1食分)の食事代を施設に送金されました。衣類を配布した施設、そして彼女のご家族からもお礼のメッセージが届いています。これからもネパールとの交流を深められるよう願っています。